

「中大脳動脈開存型の内頸動脈閉塞症に対する急性血行再建術の観察研究」 ご協力をお願い

1. 研究の概要と目的

内頸動脈閉塞による超急性期脳梗塞は予後不良であることが多いですが、中大脳動脈が開存している内頸動脈閉塞症(中大脳動脈水平部開存型内頸動脈閉塞症)は豊富な側副血行のため、必ずしも予後不良ではなく、急性血行再建術(ENER)によって良好な転帰をたどる患者様もおられます。

そのため、当院脳神経・脳卒中科では中大脳動脈水平部開存型内頸動脈閉塞症に対してENERを受けていただいた患者様のうち、予後良好だった方に関連した要因を施設内で振り返る研究を行うこととなりました。

2. 実施施設, 担当医師

京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	今井 啓輔(責任研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	山田 丈弘(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	徳田 直輝(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	山本 敦史(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	猪奥 徹也(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	濱中 正嗣(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	上田 凌大(分担研究医師)

3. 研究内容と方法

当科に入院した急性期脳梗塞患者様の中から大脳動脈水平部開存型内頸動脈閉塞症に対してENERを受けていただいた患者様を抽出、予後に関連する因子を検討します。対象期間は2014年5月から2020年7月までとします。収集するデータは以下の通りです。

- 患者基本情報と疾患関連情報:年齢や性別などの基本情報, 脳動脈閉塞機序, 画像所見, ENER 手技内容, 治療成績, 各種時間経過, 合併症など

本研究の対象患者様のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科にておこないます。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

4. 患者様の利益・不利益

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

5. 事務局・患者様問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-630

責任研究医師氏名 今井 啓輔(keisuke-imai@kyoto1-jrc.org)